

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-69147(P2010-69147A)

【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-013

【出願番号】特願2008-241812(P2008-241812)

【国際特許分類】

A 4 7 K 10/16 (2006.01)

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 10/16 A

D 2 1 H 27/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月23日(2011.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

二枚以上の帯状の連続衛生薄葉紙が重ねられた連続シートを巻取って円筒状とした衛生薄葉紙ロールであって、

前記連続シートは、エンボス加工が施されているとともに模様が印刷され、かつ、縦方向の乾燥引張り強度が  $250 \sim 450 \text{ cN} / 25 \text{ mm}$  幅であり、横方向の乾燥引張り強度が  $120 \sim 190 \text{ cN} / 25 \text{ mm}$  幅であり、

前記連続衛生薄葉紙は、古紙パルプを  $80 \sim 95\%$  含み、バージンパルプを  $5 \sim 20\%$  含み、米坪が  $12.5 \sim 14.5 \text{ g} / \text{m}^2$ であることを特徴とする衛生薄葉紙ロール。

【請求項 2】

前記連続衛生薄葉紙を構成する繊維の平均繊維長が  $1.15 \sim 1.40 \mu\text{m}$ である請求項 1 記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項 3】

前記連続シートは、着色されて白色以外の地色を有している請求項 1 記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項 4】

前記連続シートは、水解性を有する請求項 1 記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項 5】

衛生薄葉紙ロールは、巻き硬さが  $0.3 \sim 0.6 \text{ kgf}$ である請求項 1 記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項 6】

衛生薄葉紙ロールは、巻き径が  $107 \sim 109 \text{ mm}$ 、巻き長さが  $25 \sim 26 \text{ m}$ である請求項 1 記載の衛生薄葉紙ロール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 4 】

上記課題を解決した本発明は次記の通りである。

< 請求項 1 記載の発明 >

二枚以上の帯状の連続衛生薄葉紙が重ねられた連続シートを巻取って円筒状とした衛生薄葉紙ロールであって、

前記連続シートは、エンボス加工が施されているとともに模様が印刷され、かつ、縦方向の乾燥引張り強度が  $250 \sim 450 \text{ cN} / 25 \text{ mm}$  幅であり、横方向の乾燥引張り強度が  $120 \sim 190 \text{ cN} / 25 \text{ mm}$  幅であり、

前記連続衛生薄葉紙は、古紙パルプを  $80 \sim 95 \%$  含み、バージンパルプを  $5 \sim 20 \%$  含み、米坪が  $12.5 \sim 14.5 \text{ g} / \text{m}^2$ であることを特徴とする衛生薄葉紙ロール。